



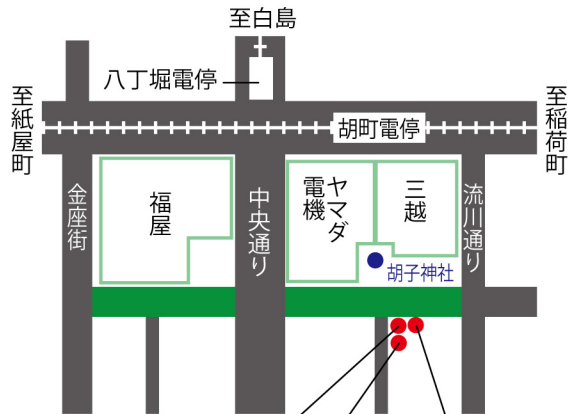
ふらっと商店街さんぽ

no.4

広島市胡町商店街振興組合

広島市の胡町と堀川町からなる「えびす通り商店街」は、1603年に商人の神様として知られる「胡子神社」の鎮座を機に開かれた“市”が起源となっており、街のシンボル「胡子神社」に守られて商店街が成り立っています。商店街には創業50年以上の老舗や人気の飲食店が並び、デパート、オフィス、繁華街にも近接しているため、多くの人が行き交います。

毎年11月18日～20日に執り行われる「胡子大祭」は広島三大祭りの一つ。祭りに合わせて商店街の大売出しである「えびす講」が開かれ、買い物客や「こまざらえ(熊手)」を買い求める参拝客が目立ちます。410年以上の歴史を有す広島の商店街の草分け的存在として、胡子神社を中心に様々な活動に取り組んでいます。



シャモニーモンブラン 炉端焼陣太鼓 オーチョーミシン 広島本店

商店街プロフィール

設立	1950年
所在地	広島市中区胡町5-14
電話	082-241-6268
理事長	大崎 浩志
会員数	64
アクセス	広島電鉄「胡町」「八丁堀」電停

商店街スポット

胡子神社

1603年創建。大江広元公(毛利家の始祖といわれる)、事代主神、蛭子神の三柱が三位一体となったえびす神が祀られ、商いを営む人だけではなく、福の神として多くの人々に崇敬されています。原爆によって、神社すべてが灰燼に帰しましたが、その2ヵ月後にはバラックの仮社殿が建てられ、1973年に現在の社殿に建て替えられました。この社殿は、「旧天満屋(現ヤマダ電機)」と「お好み焼きの徳川」と同じビルの中に入ったアーケード内にある一風変わった社殿になっています。



▲胡子神社



広島市胡町商店街振興組合ホームページ
<http://www.ebisu.or.jp/index.html>

イメージソング「えびす通り」

2007年にアーケードをリニューアルした際、広島を中心に活動するシンガーソングライター・森本ケンタによるイメージソング「えびす通り」を発表。毎朝10時になると音楽が商店街に響きます。

イベント情報

胡子大祭(えびす講)

410年以上の歴史をもつ広島三大祭りの一つ。広島に冬の訪れを告げる祭りで、「えべっさん」としても親しまれています。祭りにあわせて「えびす講大売出し」としてセールが実施され、福をかき集めるとされる「こまざらえ(熊手)」を買い求める参拝客とともに多くの買い物客で賑わいます。

毎年
11月18日
～20日



▲胡子大祭